



Risk Analysis
Research Center

リスク解析戦略研究センター ニュースレター

News Letter

2021
November

2021年11月



Risk Analysis Research Center

CONTENS

- 02 1. 今月のトピックス
- 02 2. 各プロジェクトからのお知らせ
 - 金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト
 - データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト
 - リスク基盤数理プロジェクト
 - 環境情報に関する統計解析手法開発プロジェクト
 - 地震予測解析プロジェクト
 - 資源管理リスク分析プロジェクト
- 03 3. センター事務局からのお知らせ

1. 今月のトピックス

統計数理研究所の所在地である東京のコロナ新規感染者は、大分減少してまいりました。それに伴い、リスク解析戦略研究センターにおいても、活動の幅を広げるべく模索を始めています。シンポジウムや研究集会は、やはりオンライン開催を中心として実施される予定ですが、オンラインならではの参加のしやすさ等の利点も積極的に取り入れ、より多くの方々に活動を知って頂き、研究を進めていきたいと考えています。

2. 各プロジェクトからのお知らせ

■ 金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト

- 8月4-5日にオンラインで開催された「第8回金融シンポジウム」(440名の参加申込)の冊子体を編纂作業中です。今回も関係者への限定配布を予定しており、来月の発行予定です。

(所内責任者：山下 智志 教授)

■ データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト

- 11月19日(金)に「公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム」をZoomウェビナーでオンライン開催予定です。今回のシンポジウムは、昨年度と同様に午前と午後の二部制となっています。午前のセッションは、リモートアクセス型オンサイト利用に関するチュートリアルとして、オンサイト利用制度の最新の動向、オンサイト利用の制度利用のノウハウ、匿名データの利用/分析方法を紹介します。午後は、「公的統計と統計教育」「統計データの高度利用に関する研究」という2つのテーマで、統計教育における公的マイクロデータ利用の事例の紹介、公的統計マイクロデータの利活用に関わる研究事例の報告を予定しています。現在、参加申込みを受付中です。

http://jmodc.org/event/sche_repo_2021sympo.php

- 人に優しいデジタル化の実現を目指す「デジタルの日」の趣旨に賛同し、コンソーシアムの活動ができるだけ分かりやすく紹介する特設ページを公開しています。

<http://jmodc.org/digitalday.html>



はじめに

公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムは、国が実施する公的調査で収集された個人や企業に関する公的マイクロデータを学術研究に利用するために、様々な活動を行っております。

このページでは、人に優しいデジタル化の実現を目指す「デジタルの日」の趣旨に賛同し、このコンソーシアムの活動をできるだけ分かりやすく紹介いたします。



なぜコンソーシアムが設立されたか？

我が国では、社会の状況を把握するために国勢調査、郵政調査など、さまざまな公的調査を定期的に実施しています。調査の結果から、調査対象である個人・企業の単位で集められたマイクロデータ(調査票情報)が作成されます。このマイクロデータは国の行政機関において政策策定を行う際の重要な資料として利用されています。

また、このデータは匿名化された統計情報は、我が国の社会経済情勢を多様な観点から示す有益な情報と位置づけられ、国全体で共有するための「公的統計の価値」(Data Value)が認められています。

このような統計情報の公開は平成19年に68年ぶりに改正された新統計法において、公的調査が社会全体で共有される情報資源として位置づけられたことと対応した取組の一つです。

さらにはこの新統計法の枠組みでは、「マイクロデータを活用する際の学術研究に利用する目的でのデータの取扱い」の整備が求められてきました。しかし、これらの取組の進捗が遅れていたため、これまでマイクロデータを利活用し、調査結果を共有する研究が困難であったため、匿名化されたマイクロデータを利活用した学術研究が促進されています。

このような状況を改善するため、公的統計マイクロデータ学術研究に利用する大学・研究機関の研究員とマイクロデータを提供可能な統計情報から匿名化されたマイクロデータを利活用する研究員とが連携し、2017年に公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムが発足し、マイクロデータ利用の調査活動、調査結果の相互等の取組に取り組んでいます。



- 11月18日(木)に共同利用研究集会「官民オープンデータ利活用の動向及び人材育成の取組」がオンライン開催予定。現在プログラムを調整中です。また、参加者を募集しています。

<https://www.nstac.go.jp/services/setumeikai.html>

- 12月14日(火)に公的統計マイクロデータ研究コンソーシアム評議会をオンラインにて開催予定です。

- 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムの会員募集ちらしを大学等の教育・研究機関に向けて、配布準備中です。

(所内責任者：南 和宏 教授)

■ リスク基盤数理プロジェクト

- 11月15日(月)に「確率・統計・行列ワークショップ

「彦根 2021」を開催します。滋賀大学彦根キャンパスでオンサイト・オンライン併用のハイブリット形式で行います。

<http://math.shinshu-u.ac.jp/~nu/html/workshop/20211115-hikone/>

(所内責任者：栗木 哲教授)

- 11月25-27で共同研究集会「無限分解可能過程に関連する諸問題」をオンライン (Zoom) で開催予定です。

<https://sites.google.com/view/takaakishimura>

(所内責任者：志村隆彰准教授)

■ 環境情報に対する統計解析手法開発プロジェクト

- 2022年1月27日(木)に「ISM Symposium on Environmental Statistics 2022」をオンラインにて開催予定です。今回は台湾、シンガポール、オーストラリアからの講演者にご講演をいただきます。また本シンポジウムのオーガナイザーは、Daisuke Murakami (ISM), Stephen Wu (ISM), Shonosuke Sugawara (University of Tokyo), Alan Welsh (Australian National University), Koji Kanefuji (ISM) です。本シンポジウムの情報は、統計数理研究所のホームページで公開予定です。

(所内責任者：金藤浩司 教授)

■ 地震予測解析プロジェクト

- 9月21日(火)に第79回統計地震学セミナーをオンラインにて実施しました。参加者は15名で内外国人は3名でした。
- 10月19日(火)に第80回統計地震学セミナーを開催しました。
- 11月16日(火)に第81回統計地震学セミナーを開催予定です。

https://www.ism.ac.jp/~ogata/Ssg/ssg_statseminars.html

(所内責任者：庄 建倉 准教授)

■ 資源管理リスク分析プロジェクト

- 11月28-29日に韓国日本台湾の3か国合同シンポジウムを開催する予定です。
- 12月9-10日のカンボジアでのワークショップは全体をオンラインで開催する予定です。
- 1月11-12日にネパール・トリブヴァン大学で、オンラインワークショップを開催の予定です。トリブヴァン大学側の2か所のキャンパスでは現地に学生が集まれる状況です。日本側は国内で集合して3か所での開催を調整しています。
- ラオス国立大学でのワークショップは昨年度同様、2月～3月に開催予定です(日程の詳細は未定)。
- 3月7-8 インターンシップを開催予定です。
- 3月17-18日FORMATH国際シンポジウムを開催する予定です。

(所内責任者：吉本 敦 教授)

3. センター事務局からのお知らせ

- 10月のリスクセンター運営会議の議題
 - ・ リスクセンター PD の新規採用について
 - ・ PD 追加募集の応募者の評価
 - ・ 予算執行状況の確認、3月に行うイベントの確認
 - ・ 各プロジェクトからの報告
 - ・ 事務局体制
 - ・ その他
- 次回の会議は2021年11月10日(水) 11:00～の予定です。

2021/11/1